

2018年6月11日

報道関係各位

日本貿易振興機構（JETRO）
アジア経済研究所

第39回「発展途上国研究奨励賞」（2018年度）表彰作品決定について

日本貿易振興機構（JETRO）アジア経済研究所は、2017年1月～12月の1年間にわが国で公開された図書、論文など発展途上国の経済、社会などの諸問題を調査、分析した著作31点の中から次の著作を「発展途上国研究奨励賞」表彰作品として決定しました。

家永 真幸 著 『国宝の政治史―「中国」の故宮とパンダ』
(東京大学出版会)

「発展途上国研究奨励賞」は、途上国に関する社会科学およびその周辺分野の調査研究水準の向上と研究奨励に資することを目的として、昭和55(1980)年度に創設し、今回で第39回目の表彰です。31点は大学や出版社等から推薦されたもので、田中明彦 政策研究大学院大学学長を委員長とする選考委員会が選考し、日本貿易振興機構（JETRO）アジア経済研究所が決定しました。

なお、同表彰式を7月2日（月）午後2時よりアジア経済研究所にて
開催し、受賞者による講演を行います。

問い合わせ先：日本貿易振興機構（JETRO）アジア経済研究所 研究支援部 研究奨励賞担当
TEL: 043-299-9536 FAX: 043-299-9726

資 料：第39回「発展途上国研究奨励賞」（2018年度）

以上

第 39 回「発展途上国研究奨励賞」(2018 年度)

表彰作品

『国宝の政治史—「中国」の故宮とパンダ』（東京大学出版会）

著者 家永 真幸 東京女子大学 現代教養学部国際社会学科国際関係専攻 准教授

近代国家「中国」が、どのようにして故宮とパンダを国宝と呼ばれるようにしたのか？その歴史の変遷を考察し、本来的には恣意的な線引きにすぎない近代国家の「領土」や「国民」の境界線が、現代においていかに固定化され、維持されているのか、本書を通じてその一端を解明する。

推薦著作 単行書 31 点（重複分除く） ※2017 年度は 35 点（重複分除く）

選考委員会

委員長	田中 明彦	政策研究大学院大学 学長
委員	上田 元	一橋大学大学院社会学研究科 教授
	栗田 禎子	千葉大学文学部 教授
	高原 明生	東京大学法学部・大学院法学政治学研究科 教授
	藤田 幸一	京都大学東南アジア地域研究研究所 教授
		(以上 50 音順)
	深尾 京司	アジア経済研究所長

表彰式および受賞記念講演 2018 年 7 月 2 日（月）14:00 ～ 15:30（予定）
場 所：日本貿易振興機構アジア経済研究所 C21 会議室